



<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/gss/>



2026

*Go as far
as you
want!*



山口大学国際総合科学部のパンフレット
を手にとって頂き、ありがとうございます。

皆さんはこの国際総合科学部で何が学べ
ると思われますか。国際総合科学部という
名前の通り、国際や様々な科学に関するこ
とを学べると考えているのではないでしょ
うか。

まさに本学部は、様々な既存の枠組みを
超え、時代が求める新しい学びを行っている
学部です。

大きな特徴の一つとして、留学（1年
間）をしても4年間で卒業できるカリキュ
ラムが組まれています。また学内において
も留学生、そして様々な言語や文化に通じ
た教職員が多数おり、国内でも多くのこと
を学べます。

さらに、本学部ではこの新たな学問の体
系化を、デザイン思考をはじめとする様々
な思考方法を用いて試み、社会に存在する
課題を解決する力を養うことにも力を入れ
ています。高校までの文系・理系という枠

を超えた先の学びを進めているわけです。

社会は大きく、そして速く変化し、予測
が難しい時代とされています。国際総合
科学部は、その時々々の社会が求める力を鑑
みながら、学びを進化しています。詳しく
は、このパンフレットを読み進めてくださ
い。きっと本学部の魅力を理解して頂ける
と思います。

これから大学を目指す学生そして保護者
の皆さん、ぜひ山口大学国際総合科学部を
進学先の選択肢に入れて頂きたい、そして
私たち「FGSS」のメンバーになって一緒
に学びを深めていきませんか。

皆さんの夢を一緒にかなえることを心よ
り楽しみにしています。

上田 真寿美

上田 真寿美
UEDA Masumi



国際総合科学部
FACULTY OF GLOBAL AND SCIENCE STUDIES

山口大学は、1815年に創設された私塾「山口講堂」を起
源とし、地域における高等教育および学問研究の中核たる
新制大学として創設された日本で3番目に歴史ある大学で
す。

2015年には、私塾「山口講堂」創設から創基200周年を
迎え、その年に第9番目の学部「国際総合科学部」が誕生
しました。

国際総合科学科 1学部1学科
定員 1学年100名

国際総合科学部の養成する人材像

文理の枠を超えた幅広い知識
を有し、日本語・英語等の言
語をツールとした高い
コミュニケーション
能力と、デザイン思
考による課題解決
能力を持つグ
ローバル人材
を養成しま
す。

1年間の海
外留学で、国際
感覚や異文化理解力

を身に付け、国際社会で活躍す
るためのコミュニケーション能



力と共働力を育成します。ま
た、企業や自治体と連携した
プロジェクト型課題解
決研究により、実践
的な課題解決能力
を鍛えます。

これらのカリ
キュラムを
通じて、国
際舞台や地
域社会の現場
で直面する困難
な問題を解決し、新
しい価値、新しい社会を創造す
るグローバル人材を育てます。

FGSSにおける「デザイン」とは？

「デザイン」は、「設計する・計画する・企画する」といった意味で
すが、その対象は、単にモノの色や形を越えて、新しい価値・体験・生活
を含みます。これらのデザインを通じて、社会あるいは企業等の組織が
抱えるさまざまな課題を解決することを狙いとしています。

DP1：幅広い教養と汎用的技能

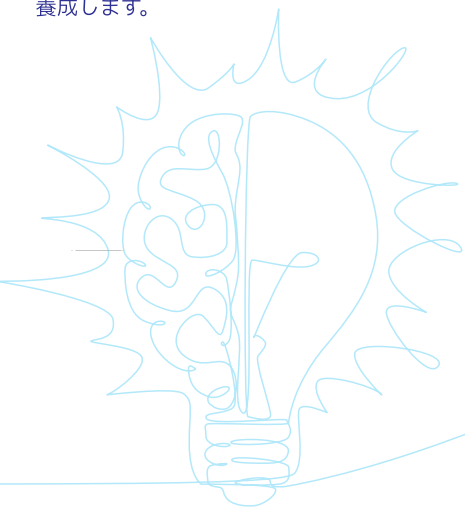
DP2：専門的な知識・技能

DP3：自律・協働する力と物事をかたちにする力

※DP：卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

国際総合科学部のカリキュラムについて

変化が激しく、予測が困難な時代においては、社会の課題に柔軟に対応し、科学的に分析し、解決策を探究する能力が求められます。山口大学国際総合科学部では、文系と理系の様々な分野に関する基礎的な知識を持ち、複数の言語の運用能力を含む高いコミュニケーション能力と課題解決能力を有し、多様な分野や背景を持つ人たちのアイデアや意見、考えを調整し、一つにまとめ上げ、新しい価値を創造できる人材を養成します。



本学部のカリキュラムでは、4年次に行うプロジェクト型課題解決研究（PBL）を軸に課題解決系科目のほか、各専門科目をより緊密に結び付け、PBLを効果的に進める体系に編成しています。2年次後期からの1年間をグローバルイヤーと位置づけ、主に留学を通じて多様なグローバル人材として社会の課題を探究する能力を養います。学際的教育が重視され、文理一体で課題に取り組むことが求められる中、文理の枠を超えた人材の育成を強化します。データサイエンスを中心として科学的に分析する能力を養い、プロジェクト等で実践する経験を蓄積します。

教育課程は2年次後期から3年次前期の1年間のグローバルイヤーをはさんで、大きく前半と後半に二分されます。前半には主として基盤科目を、後半には展開科目、キャリアデザイン科目を配置します。また、4年間を通じてコミュニケーション科目、創造支援科目、課題解決科目を配置します。

基盤科目は、科学技術、思想・文化、政治・経済の各領域に関する基本的知識、科学技術リテラシー、デザイン思考を修得することを目的として設定された科目群で

す。具体的には、科学技術史、デザイン概論、知的財産入門、文化人類学概論などの科目が用意されています。入学直後の授業では、アカデミック・スキル科目、スタートアップ科目において、学修の基礎となるスキル（統計学入門、社会調査法など）、基本的な学び方を修得し、新入生が支障なく学生生活に入れるように配慮します。

展開科目は、基盤科目で培った科学技術及び文化・社会に関する知識・理解を深めるとともに、学生の志向性に応じて能力を発展させることを目的として設定された科目群です。具体的には、科学技術論演習、文化社会論演習、サービスデザイン、著作権法などの科目が選択科目として用意されています。



創造支援科目は、課題解決のために必要なスキルをそれぞれのレベルに応じて修得することを目的として設定された科目群です。具体的にはワークショップデザイン、コンピュータグラフィックスなどの科目があります。また、キャリアデザイン科目は、実社会における様々な問題について考察するとともに、そこで活躍するための基礎的な力を高めることで、実践的な課題解決能力を涵養することを目的として設定された科目群です。



コミュニケーション科目は、単に語学力に留まらず、多文化理解能力、自己省察能力、共働力を涵養し、他者の意向を推し量り、また同時に、自らの考えや疑問を分かりやすく正確に他者に伝える能力を修得することを目的として設定された科目群です。具体的には、コミュニケーション学科目（コミュニケーション概論など）、英語科目（Elementary English Speakingなど）、複言語科目（中国語、韓国語など）が用意されています。コミュニケーションツールとしての英語は、レベルごとのクラス分けによって自身の能力に見合った授業が受講でき、かつ4技能（話す、聴く、読む、書く）すべてを修得することを重視します。また、英語以外の外国語も卒業要件に含めることができます。



課題解決科目は、実践を通じ高度な課題解決能力を修得するとともに、実践的に活躍することができる能力を涵養することを目的として設定された科目群です。基礎的な能力の修得から最終的には実社会での課題解決の実践までを段階的に行う仕組みになっています。グローバルイヤーにおいて自ら研究課題を発見し、探究するために、その前後の期間に研究手法の指導を行います。4年次に行なわれるプロジェクト型課題解決研究では、1年間を通じて実社会での課題解決を実践するため、企業等のパートナーとともに指導を行います。

以上のように国際総合科学部で学ぶことで、実社会で活躍できる力が身につく、鍛えられるものといえます。本学部とともに育み、明るく豊かな未来を作っていきましょう。

カリキュラム体系図



カリキュラム科目群詳細

基礎科目: 大学生として必要な基礎的なスキルと各分野の基本的な知識の修得	
1 スタートアップ科目: 必修4単位	国際総合科学概論、STEAM 総論など
2 アカデミックスキル科目: 必修20単位	ロジカル&クリティカルシンキング、ICT演習など
3 科学技術リテラシー科目: 必修10単位	科学技術史、物質・エネルギー・環境など
4 デザインリテラシー科目: 必修/選択4単位	デザイン概論、デザイン演習
5 知的財産リテラシー科目: 必修2単位	知的財産入門、知的財産法
6 文化社会リテラシー科目: 必修10単位	経済学概論、言語学概論など
展開科目: 各分野のより専門的、応用的な知識・理解・能力の修得	
7 科学技術論科目: 展開科目全体で8単位以上	科学技術論演習 I ~ IV
8 デザイン論科目: 展開科目全体で8単位以上	サービスデザイン、インクルーシブデザイン、ビジュアルコミュニケーションデザイン
9 知的財産科目: 展開科目全体で8単位以上	著作権法 I、特許法など
10 文化社会論科目: 展開科目全体で8単位以上	文化社会論演習 I ~ IV
11 コミュニケーション科目: 必修/選択12単位以上	コミュニケーション概論、Elementary English Speaking、言語学習の理論と実践 I など
12 創造支援科目: 選択	ユーザーエクスペリエンス (UX)、ワークショップデザインなど
13 課題解決科目: 必修13単位	<ul style="list-style-type: none"> ・山口と世界 ・グローバルイヤー準備・まとめ ・プロジェクト課題解決入門・研究・特論

※必修: 選 4 単位

※これらの科目に加えて、キャリアデザインに関する科目も開講しています。

・キャリア・デザイン入門
・実践キャリア・デザイン
・日本職場文化理解演習



交換留学とグローバル教育について

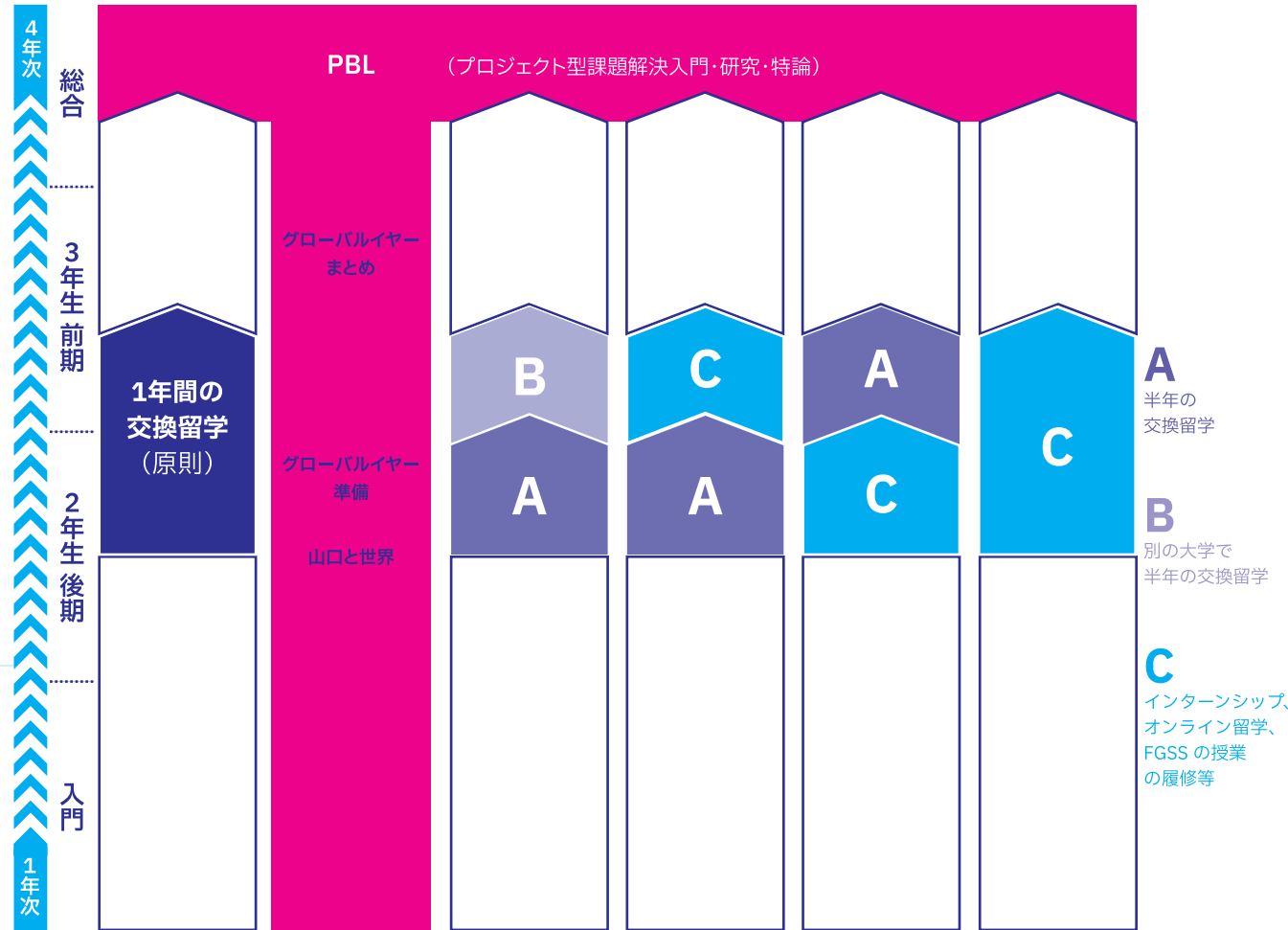
今、グローバル教育は、必ずしも留学すればそれだけでいいという時代ではなくなっています。むしろ、世界に存在する多様な価値をいかに理解し、すり合わせる能力を身につけるかということが問われているのです。単に留学するだけのグローバルから、多様な価値観をすり合わせる能力を身につける「ニューグローバル」への転換。それこそが新しい時代のニーズだといっているでしょう。

そこで本学部でも、2年生後期から3年生前期の1年間を「グローバルイヤー」として位置づけ、課題解決のためのグローバルな視点（以下、「グローバル思考」）を身につけるための期間として設

定することにしました。この期間は、1年間の交換留学への参加を原則にしつつも、短期の留学、インターンシップなどへの参加、グローバル思考醸成に重きを置いた授業の履修といった様々な形態を組み合わせながら、グローバル思考を身につけるための学びを各自で設計していくように指導しています。

具体的に大学が提供する交換留学プログラムとしては、世界各国の様々な国・地域にある海外の協定大学での1年間の長期留学を基本としつつ、半年単位での留学も選べるようにしています。したがって、別の国に半年ずつ留学することも不可能ではありません。

なお、世界のどの国・地域の大学を選んでも、英語で授業を受けることができます。場所によっては、英語以外のその国の言語を習得することもできます。そして、グローバルイヤー以外の期間でも本学部は様々な授業等を通じて学生のグローバル視野を広げようとしています。仮に留学しなくてもグローバル思考が身につく多角的なグローバル教育プログラムを用意することで、パンデミックをはじめますます不確実化する国際社会にあっても、本学では安心して勉学に勤しんでもらえるよう工夫しています。



短期語学研修

1年生の夏に1ヶ月間、アジアの英語教育の中心となったフィリピン島での語学研修又はオンライン等で、TOEIC(L&R)600点相当以上を目指し、徹底的に英語力を高めます。

ディズニー国際カレッジプログラム

1年間の留学には、アメリカのウォルト・ディズニー社が行うディズニー国際カレッジ・プログラムに参加できるコースもあります（成績・面接による審査があります）。半年間、インターンシップを行い、ながら、協定校のヴァレンシア大学が提供する「観光経営学」「創造性とイノベーション」等の講義が受講できます。

海外留学

2年生の秋から3年生の夏までの1年間、海外留学に行きます。国際社会で活躍するための幅広い知識と視野、高いコミュニケーションスキルを身につけます。（留学には、TOEIC (L&R) 600点またはIELTS(over all)5.0以上、GPA2.0以上および協定校で設定されているIELTS等の受け入れ基準をクリアする必要があります。）

アフリカ

- ケニア ・ ナイロビ大学

アジア

- ・ 仁荷大学校
- ・ 公州大学校
- ・ 韓国外国語大学校
- ・ 慶尚大学校
- ・ ソウル市立大学校
- ・ 昌原大学校
- ・ ソウル大学校
- ・ 亜細亜大学校
- ・ 梨花女子大学校
- ・ 全北大学校
- ・ 群山大学校
- ・ 釜山外国語大学校
- ・ 忠北大学校

- ・ 山東大学
- ・ 北京師範大学
- ・ 武漢理工大学
- ・ 貴州大学
- ・ 江蘇大学
- ・ 大連外国語大学
- ・ 西安交通大学
- ・ 重慶理工大学
- ・ 湖州師範学院
- ・ 首都師範大学
- ・ 遼寧師範大学
- ・ 浙江理工大学

中国

- ・ 香港樹仁大学
- ・ 香港教育大学

- ・ 国立中興大学
- ・ 東海大学
- ・ 逢甲大学
- ・ 大葉大学
- ・ 静宜大学
- ・ 開南大学
- ・ 国立高雄師範大学
- ・ 淡江大学
- ・ 玄奘大学
- ・ 国立嘉義大学
- ・ 世新大学

台湾

インドネシア

- ・ ブラビジャヤ大学
- ・ ウダヤナ大学
- ・ インドネシア大学
- ・ バンドン工科大学
- ・ ガジャマダ大学
- ・ ボゴール農科大学
- ・ シャリフ・ヒダヤトゥラーイスラム宗教国立大学
- ・ スプラス・マレット大学

タイ

- ・ カセサート大学
- ・ ソンクラ王子大学
- ・ コンケン大学
- ・ チェンマイ大学
- ・ シーナカリンウィロート大学
- ・ チュラロンコン大学
- ・ キングモンクット工科大学ラカパン校

ベトナム

- ・ ベトナム国立農業大学
- ・ 国立ハノイ教育大学
- ・ カント-大学
- ・ ベトナム国家大学ホーチミン市校 国際大学
- ・ 東部国際大学
- ・ ダナン科学技術大学

マレーシア

- ・ マレーシア工科大学
- ・ サラワク大学
- ・ クアラルンプール大学
- ・ マラ工科大学

ミャンマー

- ・ イエジン農業大学

ラオス

- ・ ラオス国立大学

ヨーロッパ

イギリス

- ・ シェフィールド大学
- ・ セントラルランカシャー大学
- ・ ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン
- ・ エディンバラ大学
- ・ パース大学
- ・ イーストアングリア大学

ドイツ

- ・ ホフ大学
- ・ フリードリヒ・アレクサンダー大学エランゲン・ニュルンベルク
- ・ ベルリン応用科学大学（ベルリン・ポイト工科大学）

ロシア

- ・ モスクワ大学
- ・ ロシア工科大学
- ・ ロシア国立農業大学 モスクワ・ティミリャーゼフ農業アカデミー

フランス

- ・ リール大学
- ・ ナント大学
- ・ ボルドー大学

デンマーク

- ・ サザンデンマーク大学

ポーランド

- ・ アダム・ミツケヴィチ大学

リトアニア

- ・ ヴィータウタス・マグナス大学

スペイン

- ・ ハイメ1世大学
- ・ バルセロナ自治大学
- ・ サラゴサ大学

ハンガリー

- ・ エトヴェシュ・ロラード大学
- ・ カーロリ・ガーシュパール大学

アメリカ

アメリカ合衆国

- ・ オクラホマ大学
- ・ エルジンコミュニティカレッジ
- ・ フィッチバーグ州立大学
- ・ マンハッタンビル大学
- ・ セントラルフロリダ大学
- ・ ヴァレンシア大学 ※ディズニーインターナショナルプログラムへの参加
- ・ ハワイ大学カウアイコミュニティーカレッジ
- ・ カリフォルニア州立ポリテクニク大学 ポモナ校
- ・ ケント州立大学
- ・ ハワイ大学 ヒロ校
- ・ ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ
- ・ フィッチバーグ州立大学
- ・ 北アリゾナ大学

カナダ

- ・ リジャイナ大学

ペルー

- ・ ラ・モリーナ国立農業大学
- ・ 国立サンマルコス大学
- ・ サン・イグナシオ・デ・ロヨラ大学

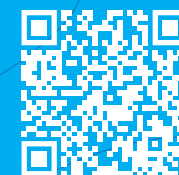
チリ

- ・ コンセプション大学

オセアニア

オーストラリア

- ・ シドニー工科大学
- ・ ニューカッスル大学



交換留学・提携校一覧

海外インターンシッププログラム

海外留学後は、英語で行われる専門科目の講義を受講することで、更なる英語力の向上を図りますが、語学力やコミュニケーション能力を生かして台湾等の企業で短期インターンシップ・プログラムにも参加できます。施設見学や業務の一部を担う就業体験によって、日本とは異なる企業文化に触れることができます。

グローバルに活躍するために

“日本を知り、世界を知る”

グローバルに活躍するために、必要となる能力。それは、語学に留まらないコミュニケーション能力及び海外の国々と日本に関する知識です。海外留学を通して留学先の歴史等に触れながら、国際社会で活躍するための幅広い知識と視野、高いコミュニケーション能力を磨きます。また、海外においてしっかり日本を発信できるよう、日本社会及び文化についても学びます。



2023 年入学
今藤彩佳

私はデンマークの南デンマーク大学に1年間留学しました。知っている人が誰もいない土地に一人で飛び込むのは勇気があることでしたが、最初の2ヶ月を過ぎたあたりから自分のペースを掴み始め、最終的に多くの友人にも恵まれました。留学中は、勉学においても、友好関係においても日々刺激を受け、学ぶことがたくさんありました。中でも、今回の留学を通じて、自分が活躍すべきフィールドは日本だけではないと知ることができたのが一番の収穫です。自分の力では到底届かない世界を知り、圧倒的な量に触れ、自分の中の常識を塗り替えることができたこの貴重な機会を、今後の多くの人とのかかわりに活かしていきたいと思います。



2023 年入学
山田菜月

オーストラリアでの留学を通して、かけがえのない仲間に出会うことができました。また、国や文化、価値観の異なる友人と共に留学生活を送る中で、自分が当たり前だと思っていた考え方が大きく広がっていくのを感じました。言葉や文化の違いに戸惑うこともありましたが、お互いを理解しようとする気持ちがあれば、深い信頼関係を築けることを学びました。多国籍の仲間と過ごした時間は、私にとって視野を広げ、自分自身を成長させてくれた大切な経験です。留学は、人との出会いを通して自分の世界を広げてくれる貴重な機会だと思います。



2023 年入学
白石優輝

私は台湾に留学しました。留学前から、中国語を含め、すでに12ヶ国語話せていたので、留学中は様々な国の人々と彼らの母国語でコミュニケーションを取っていました。海外で母国語を聞くことはあまりないので、様々な言語を話すことで彼らとすぐに距離を縮めることができたように思います。さらに1年間の留学を通して、台湾の方言である閩南語を友達と日常会話ができるくらいに習得することができました。この言語は台湾の人々にとって馴染み深いものなので常に積極的に使うようにしていました。それにより、台湾の文化をより実感し異文化理解にも繋がったと感じています。何事にもチャレンジすることが視野を広げる機会になると実感したので、これからも益々新たな世界を広げていきたいと思っています。

Studying abroad at Yamaguchi University has been one of the best decisions of my life. One semester has passed and one is yet to come, but I can already conclude that this is a truly life-changing experience. Even though I had never studied Japanese before arriving, the transition was easy thanks to the incredible community here. Everyone in FGSS—from the professors to my fellow international exchange students and Japanese students—has been so welcoming and helpful. Through all the activities on and off-campus, I have grown in ways I never expected. I look forward to enjoying every moment of my remaining time here and sharing these experiences when I return home. The memories I've made as an exchange student at Yamaguchi University will always hold a special place in my heart.

These past five months living in Yamaguchi as an exchange student have been a truly enriching experience. During this first semester, I was able to meet new people and learn about their countries and cultures – Japan's but not only. At first, I was afraid I wouldn't belong, but everyone here is very welcoming and, thanks to them, I was able to enjoy myself and grow more confident. The Japanese classes especially have helped me understand the language much more easily than any of the classes I took previously. The teachers in general always try and make the lessons engaging and dynamic, which is truly appreciated. These last few months passed in a blur; I'm really looking forward to spending another semester there.

山口大学への留学は、私の人生で最高の決断の一つでした。すでに1学期が過ぎ、まだ1学期が残っていますが、これは本当に人生を変える経験だったと確信しています。来日前は日本語を勉強したことがなかったのですが、素晴らしいコミュニティのおかげでスムーズに馴染むことができました。FGSSの教授陣から、留学生仲間、日本人学生まで、全員が私を温かく迎え、助けてくれました。キャンパス内外での様々な活動を通して、私は想像もしていなかったほど成長しました。ここでの残りの時間一瞬一瞬を大切に過ご

交換留学生として山口に住んだこの5ヶ月間は、本当に充実した経験となりました。最初の学期では、新しい人々と出会い、日本だけでなく、様々な国の文化や文化について学ぶことができました。最初は馴染めないのではないかと不安でしたが、この皆さんはとても温かく迎えてくれ、おかげで楽しく過ごし、自信をつけることができました。特に日本語の授業は、これまで受けたどの授業よりもずっと簡単に日本語を理解することができました。先生方は皆、授業を魅力的でダイナミックなものにしようと常に努力してくださっていて、本当に感謝

ドゥアンカモン スウィチャック



Duangkamol Suwichak (タイ出身)

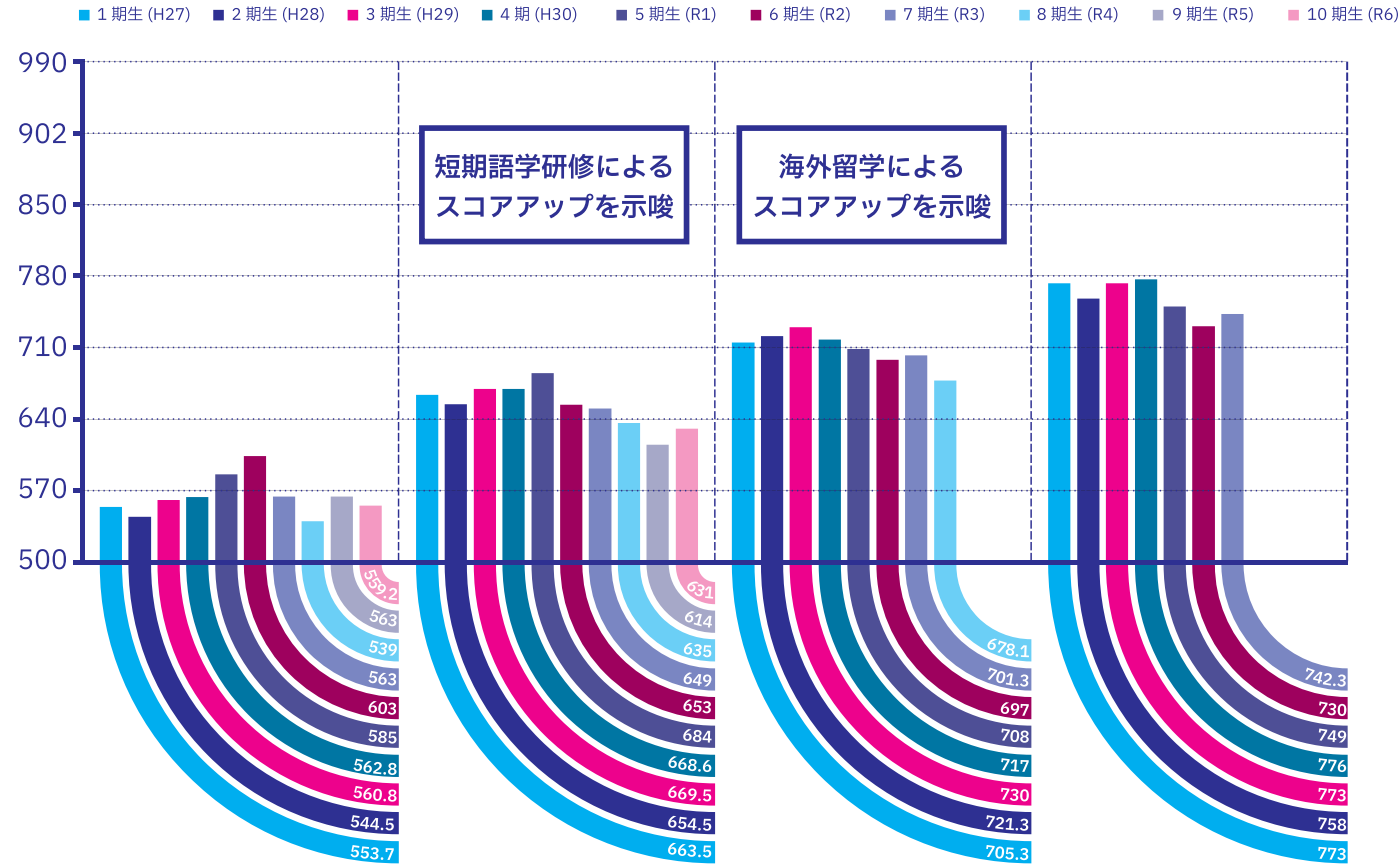
し、帰国後にはこの経験を分かち合えることを楽しみにしています。山口大学での交換留学生活で得た思い出は、私の心の中でいつまでも特別な場所を占めることでしょう。

マウルド ロルフ リリア



MAWLOUD LEROY LYLIA (フランス出身)

しています。この数ヶ月はあっという間に過ぎてしまいましたが、次の学期も山口で過ごせることを心待ちにしています。



短期語学研修による
スコアアップを示唆

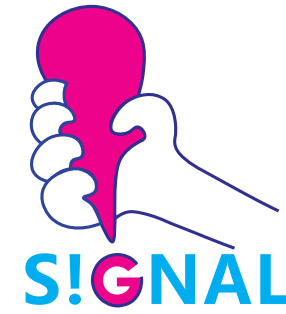
海外留学による
スコアアップを示唆



学部公認サークルについて

学部公認のサークルとして、FGSSER（フグサー）、デザインサークル SIGNAL（シグナル）、Palet's（パレット）の3団体があります。

FGSSER は、学部生と留学生間の交流の場を設け、お互いに充実した大学生活を実現するために活動しているサークルです。学部主催の国際交流イベント支援のほか、学生独自のイベントも企画・運営しており、学年や国籍といった垣根を超えて、グローバルかつアットホームな雰囲気です。異文化交流を促進しています。



SIGNAL は、公開イベントのポスターや山口大学が策定した「明日の山口大学ビジョン 2030」のイラスト制作に加わるなど、学部を越えて大学全体や学外にも活動を広げています。

Palet's は、国際総合科学部生と高校生を繋げるにより、高校生の進路学習のきっかけを作る活動をしています。

PBL (Project based learning)

概要

国際総合科学部では、3年次の後半から4年次にかけて、従来の「卒業研究」に代えて、「プロジェクト型課題解決研究」(Project Based Learning: PBL)を実施しています。これは実社会で多様な主体と連携しつつ課題解決できる人材を育成することを目的として、社会が抱える諸課題を解決するためのプロジェクトを学生が必要に応じて企業、地方自治体、NPO 法人等と協力して行おうとするものです。

コース

実施するプロジェクトは、地域のパートナー（企業や地方自治体、NPO など）とともに特定の課題に取り組むプロジェクトや、国際総合科学部の特色である多様な専門的バックグラウンドをもつ各教員の研究分野に関連するプロジェクト、あるいは両者のハイブリッドなプロジェクトからなります。すべてのプロジェクトにおいて、学生の主体的な活動のもと、さまざまな社会課題に取り組みます。

活動

プロジェクトの活動は、学生がこれまで学んだデザイン思考に基づいて、学生自身が主体的に行います。担当教員の役割は、週に1回、現在の活動状況や今後の活動方針の確認を行い、課題解決のために必要な情報の収集方法（文献や資料の探し方、専門的な知識・ノウハウを持っている人を紹介する等）や問題を抱えているようであれば適宜アドバイスをします。

学生自らが複数の専門分野にわたる知識や情報を習得・融合・活用する事を促し、これからの時代に必要とされる課題解決能力や新たな価値創造を行う能力の涵養を図ります。

2026年度 PBL 協力自治体・企業等

企業との連携（11組）

- ・株式会社 ARCH
- ・株式会社 QQ English
- ・株式会社三和
- ・株式会社サーティファイ
- ・株式会社 JTB 山口支店
- ・株式会社トヨタレンタリース山口
- ・株式会社レノファ山口
- ・株式会社 SD-WORLD
- ・トヨタカローラ山口株式会社
- ・西日本電信電話株式会社山口支店
- ・山口放送株式会社

地方自治体等との連携（2組）

- ・岩国市周東町
- ・周防大島町

NPO・団体等との連携（1組）

- ・協同組合維新

（上）美祢市2026年度PBL実施パートナー）掲載：50音順

美祢市



美祢市 PBL では毎年台湾との交流を促進するためのプロジェクトを行っています。これまで様々な方法で美祢市を台湾の人たちに PR するためのアイデアを提案し、また実践してきました。ただ、他方で美祢市民が台湾のことをあまり知らないという問題があるため、今年度はお互いを知ることができるような工夫をすることにしました。

そこで学生たちが考えたのが、かるたを通じて認知度を高めるというアイデアです。事前の文献調査などから、かるたを通じて新しい知識を学んだり、知らなかったことに対する認知度が高まるという結果が判明しました。

その結果を受け、美祢市民と台湾の人たちの両方を対象にアンケート調査を行い、どのようなかたちのかかるたであれば、互いを知ることができるか、また興味を持てるか調べたうえで、情報満載のかるたを作ることになりました。

具体的には、互いの観光地や名産の写真に加え、両地域の交流に関する写真も絵札に取り入れました。また、裏面にはその場所等の情報をさらに詳しく知ってもらうために QR コードを付け、ホームページを主とした情報源にアクセスできるようにしました。

もちろん日本語版だけでなく中国語版も作り、かつ美祢市及び台湾でフィールドワークを行い、かるたの改良を重ねました。最終的には、いつでもどこでも一人でもできる電子かるたも作製しました。これについては、すでに美祢市の公式イベントで活用してもらうなど、大きな効果を挙げつつあります。今後も色んな機会をとらえて活用してもらう予定です。

トヨタカローラ山口株式会社



このプロジェクトは、トヨタカローラ山口株式会社と連携し、主として車を使って若者が地域を元気にする方法を考えるものです。本学部の1期生（2015年度入学

生）から続いている、最も歴史の長いプロジェクトの1つです。

背景には、地方が抱える深刻な問題があります。お年寄りが増え、バスや電車などの公共交通機関が減っている一方で、若者の「車離れ」が進んでいます。その一方で、電気自動車や自動運転など、車の技術はどんどん進化しています。こうした変化の中で、これからの「移動」がどうあるべきかを研究しています。

これまでの学生は、いろいろな角度から調査を行ってきました。アンケートやインタビューで「地方においてカーシェアリングがビジネスとして成り立つか」「若者は車から離れているのか」などを調査したり、実際に車を貸し出して買い物などにどう使われるかを実験したりしました。最近では、インターネットとつながる「コネクティッドカー」の可能性についてワークショップを行ったり、車を「耐久消費財」として捉え、お客さんとクルマの会社がどのようにして長い信頼関係を作っているのかについてインタビュー調査を重ねたりしました。その時々で車に試乗するなどの体験もしました。

学生は、教員やパートナーの指導の下、チームワークを重視し、互いに励ましあい、作業を進めます。協力し合って困難を乗り越えることの重要性も学ぶことができます。



デジタル・トランスフォーメーション (DX) という変革が注目を集め、それがバズワードになってから、かなり時が流れました。巨大企業から始まったこの概念は、正しく理解されることなく徐々に社会に広まり、規模の小さな会社や自治体にも浸透し、今やこの言葉を聞いたことがない人はいないのではないかと思います。しかし、DX が一体どういうものなのか、そしてそれが何をもたらすのかを正確に理解している人は未だ多くありません。また、従業員 100 人以上の日本の企業では、「既に DX に取り組んでいる」と回答できる企業が 35 % であるのに対して、従業員 20 人以下の中小企業においては、わずか 10 % にすぎません。

そこでプロジェクトチームは、なぜ小規模事業で DX が進まないのかを調査して、これまで注目されてこなかった個人事業主の行動特性と DX の進展に関する新しい関連性を見出しました。個人事業は、事業主の意向や人間性はその事業に色濃く反映さ

れますが、デジタル化に関する心理的な障壁は、DX を進めている事業主ほど高いと感じていることが明らかになりました。チームは、個人事業主のデジタル化の重要性の認識度と心理的障壁、実際の DX 進捗の関連性を図示し、「デジタル化環世界」と名付けて、知覚世界と作用世界の関係を表す新しい概念でこの発見を説明しました。個人事業主のデジタル化環世界を描くことによって、DX の促進につなげることができると期待しています。



本研究は、大学のキャンパスで多く起きている自転車盗難の問題を、人の心理に着目して解決しようとした取り組みです。山口大学周辺では、自転車盗難の被害にあう人の多くが大学生であり、「鍵をかけない」という日常の行動が大きな原因になっています。

そこで本研究では、「注意する」「罰する」といった直接的な方法ではなく、人が自然と行動を変えたいくなる仕組みを取り入

れました。犯罪科学や環境心理学の分野では、強い指示や罰則は一時的には効果があっても、反発や慣れによって行動が続きにくいことが知られています。こうした背景から、近年は「ナッジ」と呼ばれる考え方が注目されています。ナッジとは、人の心理や習慣を理解した上で、選択肢や環境を工夫することで、自分の意思で行動を選んだように感じてもらう手法です。強制せずに行動を後押しすることで、無理なく行動が変わり、日常の中に定着しやすくなると考えられています。

実証実験の結果、のぼり旗を設置してから約 3 週間、鍵をかける学生が増えることが確認されました。一方で、同じ表示を続けると見慣れてしまい、効果が弱まることも分かりました。また、屋根のある駐輪場や備え付けのリング錠など、物理的な環境が整っている場所では、より高い効果が見られました。

なお、令和 8 年 2 月 26 日、山口県警察より自転車の盗難被害防止対策への貢献に対する感謝状を受贈いたしました。本プロジェクトで制作したのぼり旗は、研究終了後に山口県警察へ贈呈され、防犯対策に利用される見込みです。大学内で得られた実践的な研究成果が、地域の防犯活動にも活用されることで、キャンパスを飛び出し、社会の中で役立つことが期待されています。身近な課題をデータと心理学で解決し、社会につなげていく学びの一例です。

2024 年度卒業生 就職状況

国際総合科学部では、プロジェクト型課題解決研究、グローバル・インターンシップ演習など、課題解決能力を修得する科目を通じて企業との関わりを深めています。就職活動が本格化する前に企業の考え方を学ぶことができるため、就職先の決定に大変役立ちます。また、本学部では就職支援部会を組織し、個別面談対応など、きめ細やかなサポート体制で学生の就職活動を支援しています。

就職先一覧

- ・アヲハタ株式会社
- ・アイ・ケイ・ケイホー ルディングス株式会社
- ・あおぞら銀行
- ・ANA 関西空港株式会社
- ・伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- ・H.I.S.ホテルホールディングス株式会社
- ・エクスポート・ジャパン株式会社
- ・SBS ロジコム株式会社
- ・江田島市役所
- ・大阪モノレール株式会社
- ・岡山県 倉敷市
- ・片岡物産株式会社

- ・株式会社 安川ロジステック
- ・株式会社麻生
- ・株式会社イズミテクノ
- ・株式会社イトーキ
- ・株式会社エス・ティー・ワールド
- ・株式会社エディオン
- ・株式会社 NTT データ MSE
- ・株式会社 NTT データグローバル・サービス
- ・株式会社 MTG プロフェッショナル
- ・株式会社 OKAMURA
- ・株式会社カチタス
- ・株式会社カワト T.P.C.
- ・株式会社キャメル珈琲
- ・株式会社コア
- ・株式会社公文教育研究会
- ・株式会社光和コンピューター
- ・株式会社ジェイアール西日本ホテル開発
- ・株式会社 JAL スカイ九州
- ・株式会社シンクジャム
- ・株式会社セブン-イレブン・ジャパン
- ・株式会社ソラシドエア
- ・株式会社大創産業
- ・株式会社ディアーズ・ブレイン
- ・株式会社南西楽園リゾート
- ・株式会社ニシキプリント
- ・株式会社西日本シティ銀行
- ・株式会社ニトリ
- ・株式会社日本セレモニー

以下の要件すべてを満たすこと。

- I. 規定に基づいた単位 (124 単位) を修得すること
- II. 外国語の試験において以下のいずれかを満たすこと
 1. 英語で **CEFR**※の **B2** レベル (英検準 1 級レベル) に準拠した成績を修めること
 2. 英語で **CEFR** の **B1** レベルに準拠した成績を修め、かつ、英語以外の外国語で所定の成績を修めること
- III. 授業の成績から算出される個人スコアが学部の定める要件スコアを満たすこと

※CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) …外国語学習者の言語能力を評価する国際指標。

※各試験、検定レベルの成績と CEFR のレベル対象関係については、別に定める。

- 株式会社日本デザイン
- 株式会社白十字
- 株式会社博報堂アイ・スタジオ
- 株式会社日立マネジメントパートナー
- 株式会社百十四銀行
- 株式会社平和堂
- 株式会社ベガコーポレーション
- 株式会社宮崎放送
- 株式会社山口銀行
- 株式会社良品計画
- 株式会社ワークマン
- KDDI アジャイル開発センター株式会社
- 小浅商事株式会社
- 国立大学法人 山口大学
- 坂元醸造株式会社
- 三省製薬株式会社
- 清水建設株式会社
- 社会福祉法人湘南学園
- 周南総合リサイクル株式会社
- スズキ株式会社
- セコム株式会社
- ソフトバンク株式会社
- タイガースポリマー株式会社
- 中国電力株式会社
- 中国木材株式会社
- TOYOTIRE 株式会社
- トヨタテクニカルディベロップメント株式会社
- トランスコスモス 株式会社
- 南国交通株式会社
- 西日本鉄道株式会社
- ニプロ株式会社
- 日本貨物鉄道株式会社
- 日本航空株式会社
- 日本電気株式会社
- NEXUS 株式会社
- ハウジング・スタッフ株式会社
- ハウステンボス株式会社
- フォーシーズ株式会社
- 福岡国際空港株式会社
- 不二貿易株式会社
- Primetals Technologies Japan 株式会社
- 法務省 福岡法務局 (一般職)
- マツダ株式会社
- マリーゴールドホールディングス
- 森トラスト・ホテルズ&リゾート株式会社
- ヤマハ発動機株式会社
- リコージャパン株式会社
- リスのプラスチック株式会社



※1：医療、福祉
※2：公務 国家公務

※3：不動産業、物品賃貸業

掲載：企業・官公庁ごとに50音順



中国電力株式会社

2023 年度卒業 岡本 葵

私は中国電力株式会社の社員として、個人のお客様の受付を担当しています。電気を使用する等の手続きだけでなく、料金メニューの提案、太陽光の契約の管理等幅広い業務に携わっています。業務を行う上で、本学部の学びが生きていますと強く感じる点は2点あります。

1点目は対人スキルです。お客様と直接話をする業務であり、外国のお客様の対応をする機会もあることから、PBLやアメリカへの交換留学で身に付けた対人スキルや語学力は私にとって必要不可欠なスキルとなっています。

2点目は、何事にもめげずに取り組む姿勢です。文理融合である本学部では苦手な科目も履修する必要がありますが、先生方の支えにより、私は前向きに取り組め、苦手な事にも屈せず努力する姿勢を身に付けることができています。

本学部の4年間の学びを通して、私は尊敬する先生方、職員の皆様、かけがえのない友人に出会えました。先生方・職員の方々とも温かな関係を築くことができる点も本学部の大きな魅力であると私は感じます。本学部には助けをくださる方がたくさ

んいるので、恐れず様々なことに挑戦し、自分の可能性を広げてください！

日本ヒルトン株式会社

ヒルトン東京

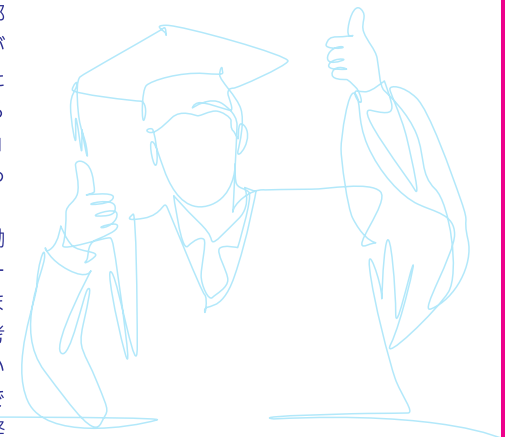
2021 年度卒業 岡村美和

私が勤めるヒルトン東京は、新宿にある外資系ホテルで、国内外のお客様を日々お迎えしています。私はマーケティング&コミュニケーションズという部署にて、ホテル全体のプロモーションやスイーツビューフェ・アフタヌーンティーの企画、広報業務を担当しています。販促物制作やメディア対応では、デザイナーや印刷業者、各部署のスタッフなど多くの関係者との連携が欠かせません。また外資系企業であるため、英語での会議やメール対応も求められ、授業や留学で培ったコミュニケーション能力や異文化理解の姿勢が大いに役立っています。

さらに、グループワークで養われた共働力量や課題解決力は、各部署が協力してサービスを提供するホテル業務に直結しています。お客様に喜んでいただける企画を考え、社内外のスタッフとともに形にしていくなプロセスは、まさにPBLそのものです。多様性の中で学び、考え、行動した経験は、現在の業務のあらゆる場面に生きて

いると感じます。

在学中に出会った同期とは今でも連絡を取り合い、互いに刺激し合える大切な存在です。この絆が続いているのは、語学研修やグループワークで苦楽を共にする機会が多くあったからだと思います。皆さんも本学部で得られる一生物の経験と仲間との出会いを糧に、自分らしく活躍できる未来を切り拓いてください。応援しています。



Apex 株式会社

2018 年度卒業 金谷 梨加

私は現在、エグゼクティブサーチファームに所属し、リーガル領域を専門とするコンサルタントとして、弁護士の方々のキャリア形成を支援しています。個人の方のキャリア相談に加え、企業や法律事務所の組織づくり・人材採用に関するコンサルテーションを提供する仕事です。

私の会社では英語を社内公用語とし、多様な国籍の同僚と連携しながら、グローバルに活躍する日本トップクラスの法曹界の方々をサポートしています。チームミーティングやクライアントとの打ち合わせでは、自分の考えを求められることも多く、語学力やコミュニケーション力はもちろんのこと、PBL を通じて培った多角的思考力や課題解決能力など、現在の仕事に活かしていることが多いと感じます。

今振り返ると、どのような分野に進んでも応用が効く実践的ソフトスキルを多く学ぶことができるプログラム・講師陣・サポートがとても充実している学部でした。進路選択という点でも、就職せずに海外の大学院へ進学という道を選んだ私を応援してくれた先生たちにはとても感謝しています。

チームディスカッションやプロジェクト型の課題も多いかと思いますが、卒業後も

必ず生きる経験になると思います。学部の仲間・先生と、是非たくさんの方にチャレンジして色々なことを経験して、充実した学生生活を送ってください！

山口大学

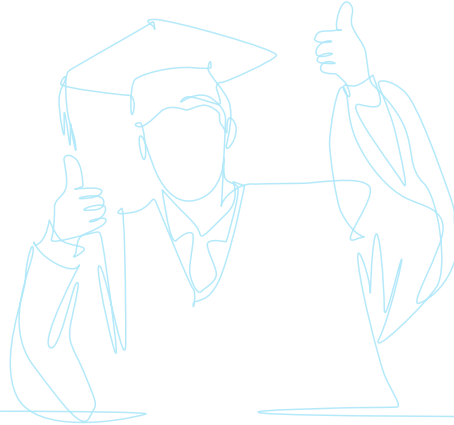
2024 年度卒業 鶴田 莉子

私は山口大学の職員として、先生や学生、職員が使用する物品の契約業務に携わっています。最先端の研究を円滑に進めるためには大学のルールに則って適切に手続きを行うことが不可欠です。日々、学内外の様々な立場の人と連携しながら研究環境を支える今の仕事には大きなやりがいを感じています。

その「周囲と協力し、物事を進める力」の基礎は、間違いなく学生時代の経験で築かれたと思います。集大成となるプロジェクト型課題解決研究（PBL）では、グループメンバーとの議論が思うように進まないこともありましたが、その困難こそ現在の業務において規則と現場のニーズとの調整を行う力に繋がっていると思います。PBL を通して、課題解決のプロセスを体系的に学習することに加え、社会に出て職種を問わず必要なスキルを磨くことができました。また、本学部の特徴となる文理の垣根を越えた学びやグローバルイヤー（留

学）を経験したことで、新しい環境に飛び込むハードルが自然と低くなったと実感しています。

本学部では、正解のない問いに対して友人と切磋琢磨できる環境があります。時には上手くいかないこともあると思いますが、失敗を恐れずに今の環境を楽しみながら頑張ってください！



ウェブサイト

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/gss/>

代表電話

083-933-5213

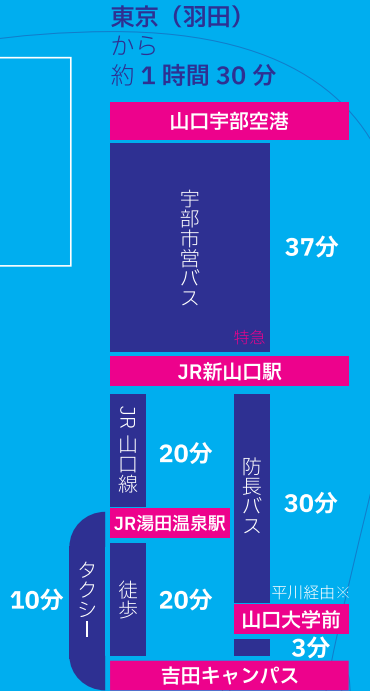
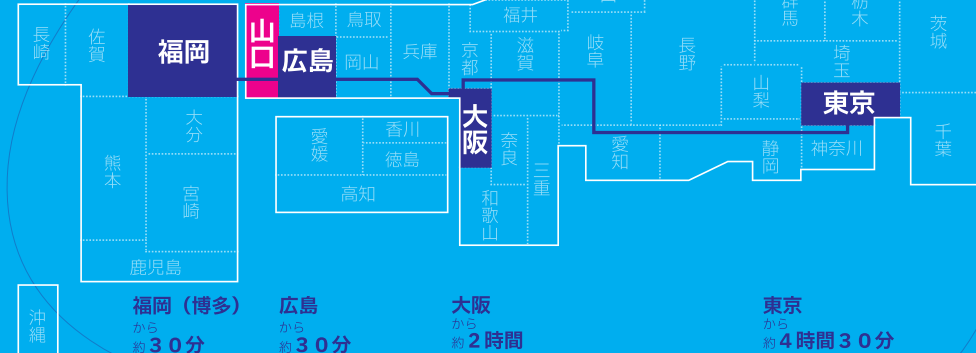
メール

gl004 @ yamaguchi-u.ac.jp



入試に関する情報

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/>



※他のルートもありますが、乗り換えが必要ですが

山口大学
吉田キャンパス
〒753-8541
山口県山口市
吉田 1677-1